

中原区



■人口 264,795人 ■世帯数 136,332世帯
 ■面積 14.81 km² (令和3(2021)年10月1日現在)

中原区の花



「パンジー」

中原区の木



「もも」

1 中原区の概要

- 中原区は、本市のほぼ中央に位置しており、中原御殿（平塚市）と江戸を結ぶ中原街道の中継地としての仮御殿が小杉にあったことから中原区と名づけられました。区域の大部分は平坦な地形が広がっており、住宅地に点在する生産緑地には区の花パンジーなどを栽培する風景も見られ、横浜市と接する南西部の井田地区は豊かな緑の残る丘陵地となっています。東京、横浜、川崎南部地域の郊外型住宅地として都市化、商業地の形成が進み、あわせて、都心に本社機能を持つ企業を中心に生産部門が進出し、現在のまちの骨格が形成されました。近年は産業構造の転換を先取りした企業による研究・開発部門などの都市型産業が武蔵小杉駅、武蔵中原駅、向河原駅周辺を中心に立地しています。
- 武蔵小杉駅周辺では大規模な再開発事業が展開されており、都市型住宅の建設が引き続き進んでいます。また、近年大規模な商業施設の開業が相次いでおり、多くの方が訪れています。
- 駅周辺の開発により近年の人口増加は著しく、平成31(2019)年4月には、昭和57(1982)年に7区に分区して以降、川崎市内の区として初めて人口が26万人を超え、今後も更なる人口増加が見込まれており、人口、世帯数ともに市内で最も多い区となっています。また、生産年齢人口の割合が7区で最も高く、老年人口(65歳以上)の割合は最も低いため、区民の平均年齢は最も低くなっています。出生数及び市外からの転入者数が7区で最も多く、転入者の約7割を20～30歳代が占めており、中原区で新たに生活を始める子育て世帯も増えています。

中原区的主要地域資源・魅力など



等々力緑地



武蔵小杉駅周辺



二ヶ領用水



多摩川

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進化管理・評価

2 まちづくりの方向性

水と緑と笑顔が会い 未来につなぐ 住み続けたいまち なかはら

- 中原区は、等々力緑地、多摩川沿いの緑や二ヶ領用水の水辺、井田山などの自然に恵まれるとともに、都心への交通利便性に優れており、武蔵小杉駅周辺は、都市型住宅が立ち並び、商業も賑わう、生活利便性が高く都市機能が集約されたコンパクトなまちです。
- 街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人がつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めます。

3 これまでの主な取組状況

●地域活性化に向けたコミュニティづくりの推進

武蔵小杉駅周辺の再開発等によるまちの変化に対応しながら、地域が主体となるまちづくりを進めるとともに、地域の賑わい・交流創出に向けたしくみづくりに取り組んでいます。

また、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、新しい生活様式を踏まえた地域交流の促進や、区のイメージアップをめざして、市民活動の支援、地域メディアが連携した情報発信の取組などを行っています。

●安全・安心なまちづくりの推進

防災に関わる情報の共有に加え、自助・共助（互助）を基本として地域防災力強化の担い手を育成するとともに、「武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画」に基づき、感染症等への対策を考慮した帰宅困難者対策の取組など、地域特性を踏まえた防災対策に取り組んでいます。

また、地域における防犯活動の支援や交通安全教室の開催等を通じて、交通事故の防止に取り組んでいます。

●人と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化

高齢化の進行を見据え、地域主体のみまもり・支え合いの取組支援、健康づくりや介護予防などに関する情報発信、さらにそれを支える多様な主体のネットワーク構築による連携強化等に取り組んでいます。

また、すべての地域住民を対象とした地域包括ケアシステムの実現のため、地域のさまざまな主体による人と人をつなげる交流の場づくりや、それを支える活動の担い手づくり、支援を必要としている人が的確に支援を受けられる取組など地域の主体的な取組の支援を行っています。

●区民と協働したこども支援の推進

区民が主体的に運営する子育てサロンなど、地域の自主的な活動を継続して支援するとともに、さまざまな情報ツールによる効果的な子育て情報の発信、新たな担い手づくりのための子育て支援者の養成等に取り組んでいます。

●スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進

「かわさきスポーツパートナー」や地域のスポーツ団体などと連携し、地域でスポーツに親しむ機会を増やすとともに、区内にある文化資源や緑を活かして地域間・世代間交流を深め、元気とうるおいのあるまちづくりを進めています。

●区役所サービスの環境改善

今後も人口増加が見込まれ、行政需要の増加が想定される区役所サービスについて、窓口混雑期の対応や待合スペースの環境改善などを図ることで、更なる区役所サービスの向上を進めています。

4 現状と課題

●武蔵小杉駅周辺の再開発による住民の増加や近年のコミュニティの課題に対応するため、区民とともに進めるまちづくりが求められています。

- 区内全域で住宅開発が進み、ここ 10 年間で人口増加率が 10.0%と市平均を越えており、新たな区民が増え続けています。特に武蔵小杉駅周辺では、大規模な再開発に伴う高層マンションの建設によって人口増が顕著であり、武蔵小杉駅周辺全体の将来像を見据えた、持続可能なコミュニティづくりを進める必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響によりテレワークなど働き方が変化中、武蔵小杉駅周辺では日中の滞在人口も増加しており、今後の居住志向の変化も見据えながら、これからも、住みたい、住み続けたいと感じられるまちづくりをさらに進めていく必要があります。

近年地域コミュニティの課題として、身近な交流や活動の場の不足、互助の必要性の高まり、高齢化、町内会等の住民自治組織を取り巻く環境の変化といったことが挙げられています。こうした課題に対応するため、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく、市民創発によるまちづくりが進められています。



武蔵小杉駅付近の市道をフィールドとした社会実験の様子

●災害対策、防犯、交通安全など、安全・安心への対策が求められています。

- 戸建や大規模マンションなど住居の多様性、人口増や企業・商業施設の集積、多数の利用者を有する駅が存在や多摩川などの自然環境を踏まえ、区内で発生が想定されるさまざまな災害への的確な対応が必要となります。令和元年東日本台風での浸水被害後に調査した令和 2（2020）年度区民アンケートでは、今後、特に力を入れてほしい区役所の業務として、「地震や風水害への対策」が最も高い結果（59.9%）となる一方、地域で行われる防災訓練や避難訓練に参加したことがないとの回答が 7 割を超えており（73.2%）、日頃からの災害に対する備えや、発災時の対策が求められています。

また、区内の人身交通事故に占める自転車交通事故の割合が高いことから、自転車交通ルールを守る意識の啓発が求められています。

●いつまでも自分らしく暮らしていくために、地域での支え合いが必要になっています。

- 令和元（2019）年 10 月 1 日現在の老年人口（65 歳以上）の割合は、7 区で最も低い 15.3% となっているものの、将来人口推計によると、令和 32（2050）年には 25%を超えることから、高齢化の進行を見据え、新しい生活様式も踏まえながら、介護予防や健康寿命の延伸に向けた取組のほか、ひとり暮らし高齢者の増加を踏まえ孤立防止などにも引き続き取り組んでいく必要があります。

また、地域包括ケアシステムが掲げる、「誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現」を目的として、活動の担い手の育成、支援が必要な人が的確に支援を受けられる取組、地域全体での見守りや支え合いのしくみづくりなど、自助・互助の取組をさらに推進する必要があります。



健康づくりのためのご当地体操
なかはらパンジー体操

●身近な地域で子育て世帯を支えるしくみの充実が必要です。

- 令和元（2019）年 10 月 1 日現在、中原区の年少人口（0～14 歳）は 33,929 人と 7 区で最も多い中、今後の人口動態を踏まえて、想定されている保育ニーズの変化への対応や、子ども・子育て支援が引き続き必要です。

また、令和 2（2020）年度区民アンケートでは、子育て支援サービスを利用したことはないとの回答が 5 割近く（48.6%）となるなど、慣れない土地での孤立感や、育児に対する不安・悩みを抱えた子育て家庭を、新しい生活様式を踏まえながらも、よりサービスを利用しやすいよう、身近な地域で支え合う必要があります。



子育て世代の交流の場「子育てサロン」

●地域の様々な魅力を活かしたまちづくりが進められています。

- 区内には二ヶ領用水、井田山の緑地、下小田中の農地などの豊かな自然環境や中原街道沿いの歴史ある文化資源などが残っているほか、等々力緑地には陸上競技場、野球場、アリーナなどがあります。また、中原区を拠点とするサッカー、バスケットボール、バレーボールのプロスポーツチームが活躍しています。このような地域の魅力的な資源を活かした取組をさらに進めていく必要があります。



令和 2 年にリニューアルされた等々力球場

●人口の増加等に対応した区役所サービスが求められています。

- 令和 2（2020）年度区民アンケートでは、窓口のプライバシーへの配慮や衛生環境への満足度が前回調査に比べて増加している一方、待合スペースの広さについては、不満の声が寄せられています。待合スペースの木質化や待ち時間の短縮の工夫など、これまでも改善に取り組んできたところですが、人口増に伴って引き続き多くの方が利用する区役所庁舎において、より安全で快適な環境を提供するとともに、区役所サービスの更なる向上や改善を行う必要があります。



木質化された区役所 1 階スペース



中原区子育てイメージキャラクター
ミミ・ケロ



なかはらエコ推進大使
ロジーちゃん

5 計画期間の主な取組

地域活性化に向けたコミュニティづくりの推進

主な取組の方向性

- 再開発等により変化の著しい武蔵小杉駅周辺における地域主体のまちづくりの推進
- 区のイメージアップ及び地元への愛着醸成に向けた地域メディアとの連携による情報発信の推進
- 市民活動団体の活動支援及び交流促進による地域の活性化の推進

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3（2021）年度	令和4（2022）～7（2025）年度
小杉駅周辺の新たなコミュニティ推進事業 武蔵小杉駅周辺地域の魅力づくりや愛着づくりを通じた地域参加を進めるため、住民や企業との連携事業や場づくりに取り組みます。また、地域内で助け合える関係づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 小杉駅周辺の魅力づくりに向けた取組の推進 R2企業・住民との協働事業：6事業 ● 公共空間の活用のための取組の検討・推進 ・こすぎコアパーク等における社会実験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業・住民との共創、協働による愛着づくりの取組 ・こすぎコアパーク等における社会実験の実施 ・官民連携による公共空間の利活用、維持管理の促進 ・地域住民の公共空間の利活用に向けた機会創出、環境整備
中原区広報・広聴推進事業 パブリックコメント手続制度や住民投票制度などの「自治基本条例」に基づく自治運営に関する制度等の適切な運用を進め、自治の推進に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 効果的な地域情報の発信に向けた取組の実施 ・なかはらメディアネットワーク（NMN）との連携 R2NMNと連携した地域情報の発信：42件 ● 区民アンケートの実施及び分析 ・R1実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・NMNと連携した地域情報発信の推進等 ・継続的なアンケートの実施、分析、各取組への反映
市民活動活性化事業 地域活動団体の交流の促進及び活動の支援により、地域の活性化を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動拠点の提供など区民との協働による活動活性化のための支援 ・中原区民交流センター「なかはらっば」の運営 ● 地域活動団体間の交流の促進 R2交流会「なかはらっば祭り」の開催：1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 ・交流会「なかはらっば祭り」の開催



なかはらメディアネットワークでの地域情報発信（かわさきFM「Enjoy★なかはら」収録の様子）



「なかはらっば祭り」

安全・安心なまちづくりの推進

主な取組の方向性

- 自助・共助（互助）・公助の考え方に基づく、区民、企業、行政等が連携した防災対策の推進
- 区民、地域団体、行政等の連携による地域の防犯力及び防犯意識の向上

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3（2021）年度	令和4（2022）～7（2025）年度
地域防災力強化事業 自助・共助（互助）・公助の考え方に基つき、区民、企業、行政等が連携した防災対策に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 自助・共助（互助）による地域防災力の強化に向けた取組の推進 ・避難所訓練の実施支援 ・自主防災組織の活動支援 ・中原区総合防災マップの配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営会議による避難所の自主運営に向けた支援 ・感染症などに伴う複合災害を前提とした避難所訓練の実施 ・自主防災組織の設立・活動支援 ・区災害対策本部の体制強化 ・改訂版中原区総合防災マップの検討・作成、区内全世帯等への配布
	<ul style="list-style-type: none"> ● 中原区総合防災訓練の実施 R2実施回数：1回（動画配信） 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢に応じた新たな手法による訓練の実施 ・区民や関係機関との連携による地域特性に応じた実践的な訓練の実施
	<ul style="list-style-type: none"> ● 中原区の特性を踏まえた各種訓練の実施 ・帰宅困難者対策訓練の実施：情報受援伝達・開設訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア防災計画に基づく、一時滞在施設や駅が連携した帰宅困難者訓練の実施
中原区安全・安心まちづくり推進事業 区民、地域団体、行政等が連携して地域の防犯力及び防犯意識の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の防犯力・防犯意識の向上 ・防犯資機材の貸与等 ・防犯パトロール実践講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防犯活動団体への防犯資機材（ベスト、誘導灯など）の貸与等の実施 ・防犯に関する研修・講座の実施



中原区総合防災訓練



防犯パトロールの取組

人と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化

主な取組の方向性

- 子ども、高齢者、障害者等すべての地域住民が安心して地域で暮らし続けることができる、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進
- 福祉・健康に関する各種団体間の交流促進による地域福祉のネットワークの拡大

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3（2021）年度	令和4（2022）～7（2025）年度
中原区地域包括ケアシステム推進事業 「地域包括支援ネットワーク」の構築を推進し、保健・医療・介護・福祉等さまざまな社会資源が有機的に連携できるような環境整備を図ります。また、地域包括ケアシステムの情報発信や普及啓発を通じて、子ども、高齢者、障害者等すべての地域住民が安心して地域で暮らし続けられるよう取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ● さまざまな主体の参加による地域包括ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議に対する支援 ● 5地区の実情に合わせた地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に合わせた地域包括ケアシステムに関する情報の提供 ・中原区地区カルテの活用・検証・改訂 ・地域包括ケアシステムの推進に関する地域の中での対話の機会の創出 ● 地域包括ケアシステムの推進に向けた普及啓発の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養に関するリーフレットの作成・配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議への支援を通じた地域課題の把握、地域づくり・地域活動を行う人材の発掘・育成、地域と連携した個別課題に対する支援 ・地域の実情に合わせた地域包括ケアシステムに関する情報の発信、情報共有の推進 ・高齢者見守り、生活援助等自助・互助につながる地域の主体的な取組への支援 ・中原区地区カルテの活用・検証・改訂 ・地域包括ケアシステムの推進に関する地域の中での対話の機会の創出および地域課題解決に向けた取組の推進 ・リーフレットの配布や啓発活動などによる在宅療養に関する取組の実施
中原区地域交流活性化事業 地域の交流の場や活動などの情報を提供し、高齢者の外出や社会的交流を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の地域交流活性化に向けた取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・中原区シニアのためのおでかけマップの作成、配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・健康づくりのためのリーフレットの作成、関係団体等を通じた配布
なかはら福祉健康まつり実施事業 福祉・健康に関する各種団体間の交流を図り、地域福祉のネットワークの拡大をめざします。	<ul style="list-style-type: none"> ● なかはら福祉健康まつりの開催 R2開催：1回 ● 参加団体同士の交流促進 ● 障害者理解の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉関係団体と連携したなかはら福祉健康まつりの開催 ・福祉関係団体や健康関係団体の交流促進支援 ・なかはら福祉健康まつりにおける、障害者スポーツの体験型イベント等の実施

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

政策体系別計画

区計画

進化管理・評価

区民と協働したこども支援の推進

主な取組の方向性

- 地域の特徴を活かした子育てサロン等の運営の支援
- 子育て世代へ向けた、さまざまな情報ツールを活用した情報の発信

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3(2021)年度	令和4(2022)～7(2025)年度
中原区子育て支援推進事業 親子の孤立を防ぎ、子育て中の不安を軽減するために、地域の特徴を活かした子育てサロン等の運営を支援します。	● 子育て世代の仲間づくりやコミュニケーション活動等の支援 R2子育てサロン：15か所 R2ふれあい広場：3か所 R2中原区子育て支援推進実行委員会全体会：2回	・民生委員児童委員などによる子育てサロンの運営支援 ・地域のボランティアにより実施される子育てふれあい広場の運営支援 ・中原区子育て支援推進実行委員会全体会の開催
子育て情報事業 子育て世代へ向けて、さまざまな情報ツールを活用した情報発信を行います。	● 多様な情報ツールを活用した子育て情報の発信 ・新たな情報ツールによる広報の実施 ・子育てガイドブックの作成、配布 ・大型商業施設への広報物の配架	・ホームページやSNS、かわさき子育てアプリによる広報の実施 ・子育て情報ガイドブック「このゆびと～まれ！」の作成・配布 ・武蔵小杉駅周辺的大型商業施設への広報物の配架
子育て支援者養成事業 子育て支援の場を支える新たなボランティアを養成し、地域全体で子育てを応援していく体制づくりを行います。	● 地域全体で子育てを応援していく体制づくりの推進 R2子育て支援者養成講座：1回 ● 養成講座修了者への支援の実施 ・活動団体等とのマッチング機会の確保	・子育て支援に関心のある人を対象とした子育て支援者養成講座の開催 ・ボランティア団体との交流・連携による活動先とのマッチング機会の確保 ・フォローアップ講座の開催



地域の子育てボランティアとして活動する子育て支援者養成講座修了者



区で発行する子育てに関する情報紙

スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進

主な取組の方向性

- かわさきスポーツパートナーとの連携による交流機会の創出及び地域活性化の推進
- 花や緑を活用した、住み続けたいと思うまちづくりの推進

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3(2021)年度	令和4(2022)～7(2025)年度
スポーツを通じた地域活性化推進事業 かわさきスポーツパートナーとの連携による事業等により、交流機会を創出し、地域の活性化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●かわさきスポーツパートナーとの連携による事業の実施 R2スポーツ教室、フットボール大会等の実施：各1回 ●スポーツを通じた地域の交流機会の創出 ・活動広報等の実施 ●かわさきパラムーブメントの推進 ・各種イベントでの障害者スポーツ体験などによるかわさきパラムーブメントの取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子サッカー教室、バレーボール教室、バスケットボール教室、アメフト・フットボール普及啓発等の実施 ・総合型地域スポーツクラブの活動の周知 ・各種イベントでの障害者スポーツ体験など障害者スポーツの普及促進によるかわさきパラムーブメントの取組の実施
区民の手で花いっぱい中原事業 区民ボランティアとの協働による花と緑を活用した事業により、まちの魅力向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●植栽管理や区民花植体験等の実施 R2維持管理花壇：5カ所 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ボランティアとの協働による公共花壇の植栽の維持管理

区役所サービスの環境改善

主な取組の方向性

- 「区役所サービス向上指針」に基づく、より質の高いサービス提供に向けた窓口環境の改善等の推進
- 区役所サービス向上に向けた庁舎及び敷地の有効活用の推進

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3(2021)年度	令和4(2022)～7(2025)年度
区役所サービス向上事業 「区役所サービス向上指針」に基づき、より質の高いサービス提供に向けて窓口環境の改善等を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●行政需要の増加等に対応した区役所サービスの提供 R2職員研修：2回 R2サービス向上委員会の開催：4回 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修の実施 ・サービス向上委員会の開催
区役所混雑緩和・環境向上事業 庁舎や敷地の有効活用を進め、区役所の混雑緩和や利用者へのサービス向上を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●行政需要の増加等に対応した区役所サービスの提供 ・繁忙期における混雑緩和に向けた取組等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善・レイアウト検討委員会の開催 ・職員提案制度の実施 ・区役所敷地の有効活用に向けた調査・検討の実施

区における地域の課題解決に向けたその他の取組

取組の柱 区名	事業名	概要	現状	事業内容・目標
			令和3（2021） 年度	令和4～7（2022～2025） 年度
中原区				
地域活性化に向けたコミュニティづくりの推進				
	まちづくり推進実践活動事業	人材の発掘や企業との連携、マッチング等により、地域課題の解決を図るための環境づくりを推進します。	●企業や地域団体と協働・連携したイベントの開催 ●まちづくり情報の広報	
	商店街と連携した地域のまちづくり推進事業	商店街を地域の情報交換や交流の場として活用し、地域交流を促進します。	●商店街と連携した各種教室及び地域交流イベントの実施	
	区民祭開催経費	区内企業及び各種団体等と連携し、“心のふれあう ふるさと中原”をテーマに区民祭を実施します。	●区民祭の開催	
安全・安心なまちづくりの推進				
	中原区ガイドマップ（安心マップ）作成事業	転入者にガイドマップを配布することにより、災害時に有用な情報や区の基本情報等を転入後速やかに把握してもらい、区民生活の利便性の向上と安全・安心のまちづくりを推進します。	●「中原区ガイドマップ」の作成・配布	
	案内サイン情報更新事業	武蔵小杉駅周辺の再開発事業などの進捗に合わせ、表示内容の更新や、多言語表示を推進します。	●盤面表示内容の検証・更新	
	中原区放置自転車対策事業	自転車利用者のモラルやマナーの向上を図るため啓発活動を行います。	●自転車利用者のモラルやマナーの向上のため啓発活動の実施	
	交通安全教室開催事業	区民を対象にスクアードストリート方式による交通安全教室を開催し、安全な自転車の乗り方等のルール・マナーを習得してもらうなど、交通事故防止に取り組みます。	●スクアードストリート方式の交通安全教室の実施 ●幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象とした各種交通安全教室の実施	
区民と協働したこども支援の推進				
	中原区総合子どもネットワーク事業	子ども・子育て支援を推進するとともに、関係団体・機関による情報交換、相互協力等によるネットワークを構築することで、子どもの健やかな成長を促すための環境整備やしきづくりを推進します。	●子ども・子育て支援に関する団体等によるネットワーク会議、交流会などの実施 ●子育て情報の発信 ●「なかはら子ども未来フェスタ」などの実施	
	中原区子どもの発達支援事業	子どもの発達支援に関わる業務や活動を行っている機関や団体が、課題を共有するために検討会を開催します。また、保護者向けセミナーを開催します。	●発達支援検討会・保護者向けセミナーの実施	
	中原区地域子育て支援事業	育児負担の大きい多胎児育児の支援のために交流会や親子の集いを開催します。	●多胎児支援のための交流会、多胎児親子の集いの実施	

取組の柱 区名	事業名	概要	現状	事業内容・目標
			令和3（2021）年度	令和4～7（2022～2025）年度
スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進				
	環境まちづくり支援事業	SDGsを踏まえながら、学校・企業・地域等と連携した啓発事業などを実施し、地球温暖化防止に係る地域活動の普及・啓発を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●「エコ暮らしフェア」の実施 ●区内企業、市民団体や小学校と連携した「子ども環境事業」の実施 ●環境を切り口としたSDGs推進イベントの実施 	
	中原スポーツまつり開催事業	スポーツ推進委員会、青少年指導員連絡協議会、子ども会、町内会等が中心になって、年齢を問わず、誰でも簡単にできるスポーツの体験会を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ大会の実施 	
	中原区体育及びスポーツ振興事業	各種スポーツ行事に対し区長杯を製作、贈呈することで、スポーツを通じた地域の活性化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●区長杯の贈呈によるスポーツ振興の推進 	
	中原区民多摩川ロードレース「マイベース大会」開催事業	マラソン大会を実施することで、区民の健康増進を図るとともに、健康マラソンの普及を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●中原区民多摩川ロードレース「マイベース大会」の実施 	
	中原区青少年吹奏楽コンサート事業	音楽を通じた青少年の育成、地域間・世代間の交流のため区内すべての中学校・高等学校による吹奏楽コンサートを実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年吹奏楽コンサートの開催 	
	中原区役所コンサート開催事業	ランチタイムにクラシック等のコンサートを実施することで、「音楽のまちづくり」を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●中原区役所コンサートの実施 	
	In Unity開催事業	音楽をきっかけとした地域間・世代間の交流を推進するため、アマチュアミュージシャンやダンスグループなどによる音楽ライブを開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽ライブ「In Unity」の開催 ●「In Unity」のPRイベントの実施 	
	歴史と緑を活用したまちの魅力発信事業	「なかはら歴史と緑の散策マップ」を作成するとともに、マップや散策案内板を活用し、区民と協働でまち歩きや講座を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「なかはら歴史と緑の散策マップ」の作成 ●「なかはら歴史と緑の散策マップ」を活用した講座の実施 	
地域課題対応その他事業				
	中原区市民提案型事業	市民活動団体等から事業提案を募集し、市が進める協働型事業のルールに基づき、提案団体等と行政が協働で課題解決に向けた取組を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動団体等の提案による中原区の課題解決に向けた取組の実施 	
	地域課題対応事業一般経費	地域課題対応事業全般の執行に必要な事務用品の購入、複写品費、郵送などの経費支出を行い、円滑な事業推進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域課題対応事業全般の円滑な事業推進 	
	中原区制50周年記念事業	令和4年4月に迎える区制50周年を区民に、より地域への愛着を持ってもらうため、記念事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●なかはら世紀越え記念カプセル開封イベントの実施 ●区制50周年記念関連事業の実施 ●区制50周年記念広報事業 	
区の新たな課題即応事業				
	区の新たな課題即応事業	年度途中に発生する新たな課題に、適切かつ迅速に対応し、課題解決を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●新たに発生する課題への適切・迅速な対応に向けた取組の実施 	